

講義コード	1BD0210001
講義名称	ビジネスモデル 01<春>
科目英文名	Business Model Theory
開講責任部署	ビジネスデザイン学部 ビジネスデザイン学科
代表ナンバリングコード	BUSA2730
単位数	2.0
時間割	春学期: 木曜日 3時限
講義開講時期	春学期

## 担当教員

氏名	オフィスアワー	メールアドレス	研究室
◎ 岡田 明穂			

授業形態	講義	実習	アクティブラーニング
	プレゼンテーション	グループワーク	実務経験のある教員による授業① 企業、社会人対象にイノベーションのメソッド、ツールの普及・実践活動を図っている（一社）ビジネスモデルイノベーション協会の現役理事が、ビジネスデザインの専門的知識と実践法を演習を通して提供する

アクティブラーニングの詳細	※受講人数により表記のとおり実施できない場合があります。		
	コメントシート	宿題(演習問題、e-learning等)	ディスカッション(話し合い)
	プレゼンテーション(発表)	体験学習(実習、実験)	課題解決
	その他		

講義・演習概要	様々なビジネスモデル、およびそのデザインの基本について学ぶ。授業は理論・知識の習得にとどまらず、論理×感性の力をフルに活用しての実践的スキルの基礎も身につける内容とする。取り上げる業種・業態は幅広く設定するが、ドメインで取り扱う食、農、福祉・医療、教育、健康・スポーツ、アパレル、住居、まちづくり、観光、IT等での学びとの関連性も考慮しての進行とする。学生が各自のアイデアを深く考察し、また他者と共有できるようになるために、ビジネスモデル、ならびにサービスデザインに関連するメソッド・ツール（ビジネスモデルキャンパスほか）の活用方法も身につける。
学習（到達）目標	<p>本授業では、ディプロマ・ポリシーに掲げる「取り組むべき社会の課題を発見し、その解決策を考え出し、実行することで、社会に対して持続的に価値を創造する力」を身につけることができる。具体的には下記の通り。</p> <p>DP1.ビジネスデザインに必要な幅広い知識・技能・教養・感性</p> <p>DP2.ビジネスデザインに必要な論理的な思考力・判断力・表現力</p> <p>DP5.取り組むべき社会の課題を発見し、その解決策をビジネスとしてつくり出す力</p> <p>詳細は、下記の通り。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>洞察力・観察力を高めることができる（デザイン思考）</li> <li>既に存在するビジネスモデルを分析する力</li> <li>まだ存在しないビジネスモデルを構想する力</li> <li>ビジネスモデル進化ストーリーをデザインする力</li> <li>自身の構想をプレゼンテーションし、共感を得る力</li> </ol>

## 講義・演習計画

回	内容
第1回	【対面】 ガイダンス/ビジネスデザインの全体像をつかむ－基礎知識
第2回	【対面】 ビジネスモデルデザインの基本を理解する－基礎知識
第3回	【対面】 ビジネスモデルデザインを体験する (ペアワークを活用してデッサンレベルを体験)
第4回	【対面】 他社のビジネスモデルを構造化する (ビジネスモデルヒアリング/他己紹介-ペアワークにて)
第5回	【対面】 価値提案（VP）について学ぶ1－もうひとつのキャンパスVPC
第6回	【対面】 価値提案（VP）について学ぶ2－ジョブ理論 (ガイドに従いバリュープロポジションキャンパスを描く個人ワーク)

第7回	【対面】顧客を観察し学ぶ手法を身につける (デブス・インタビューを体験するワーク-ペアorグループ)
第8回	【対面】価値提案 (VP) をデザインする (バリュープロポジションキャンバスを活用しての個人ワーク)
第9回	【対面】ビジネスモデルのBackstageをデザインする (リソースマイニングの個人ワーク)
第10回	【対面】ビジネスモデルのFrontstageをデザインする1-カスタマージャーニー (個人ワークにて、カスタマージャーニーを描いてみる)
第11回	【対面】ビジネスモデルのFrontstageをデザインする2-サービスブループリント (個人ワークにて、サービスブループリントを描いてみる)
第12回	【対面】ビジネスモデルのProfit Formula (収益モデル) をデザインする (手を動かして損益分岐点を理解する個人ワーク)
第13回	【対面】ビジネスモデルの多様なパターンを知る
第14回	【対面】イノベティブな思考を身につける (ペア&グループワークを通じてアブダクションの力を磨く)
第15回	【対面】まとめ/ビジネスモデル演習 (秋学期) への連結

## 成績評価の方法 (割合)

「成績評価の方法 (コメント)」についても合わせてご確認ください。

試験	
レポート	50%
その他	50%

成績評価の方法 (コメント)	レポート (授業にて課す課題含む) : 50%、その他 (授業全体における参加度と貢献の質) : 50% 備考 進捗に応じて到達目標に対応する課題を設定、提出を求め、その内容 (独創性・論理性・共感性・理解度等) を評価する。 尚、4回以上欠席すると、科目の特性上、成績評価が困難となり、単位認定されない可能性があるので十分留意すること。
----------------	---

参考文献	●ビジネスモデル・ジェネレーション ●バリュー・プロポジション・デザイン ●ジョブ理論
事前および事後学習の指示	・シラバスに沿い、提示するテキスト、資料を予習しておくこと ・事前課題 (予習用動画視聴含む) が設定された回は、それに取り組んだ上で授業に参加すること ・本授業に関連する参考資料 (文献・WEBサイト等) を紹介、授業で不十分だった場合はそれらで補っておくこと